



東京歯科大学同窓会 社会保障制度研究委員会 第3回 研究会

東京歯科大学
同窓会創立

120 周年記念フォーラム

“**明るい歯科医療を模索する**”

『**これからの社会保障政策と歯科医療の展望**』

平成27年9月13日(日)

午後1時30分～4時40分

東京歯科大学 水道橋校舎本館 14階



講師 **遠藤 久夫**

社会保障審議会医療保険部会長
元中医協 会長・学習院大学経済学部教授



講師 **上條 英之**

東京歯科大学歯科社会保障学教授
昭和58年卒

パネラー **稲葉 孝夫**

東京都歯科医師会 理事
昭和57年卒

パネラー **奈良 夏樹**

(株) ミナケア
平成18年卒

パネラー **島村 大**

参議院議員
昭和60年卒

パネラー **相庭 常人**

社会保障制度研究委員会 委員長
昭和60年卒

“明るい歯科医療を模索する”

『これからの社会保障政策と歯科医療の展望』

超高齢化社会への移行が現実となった今、経験のない領域にて医療制度が変わろうとしている。これまで培われた医療政策とは違う次元で考えねばならぬ状況が、すでに目の前に訪れている。しかしながら、そこには、経済動向、人口比率、少子化問題、格差問題、医療提供体制・需給問題等、多くの問題が山積されている。様々な不安要素のある中で、歯科医療だけではなく医療全体に対し、我々は何を考え、何に向かって、どのように物事を進めるべきかを検討したいと思う。

今回は、「これからの社会保障政策と歯科医療の展望」のテーマにて、遠藤先生には、2025年を超えて、2035年を見据えた社会保障政策の概略と目的、さらに今後かわって行くであろう医療介護の予想される政策などを軸に基調講演いただく。

続いて、上條先生に、今後かわっていく社会保障政策の中での歯科医療についてご講演いただき、さらに過去のデータから現在の状況の分析と将来に向けた政策にご提言いただく。

シンポジウムにて、稲葉先生、島村先生、奈良先生より、基調講演に対してそれぞれのお立場からの考え方、明るい未来展望などを話していただき、その後、政策の一つである、財政支援制度いわゆる基金について横浜市を事例として相庭先生より報告する。

その後、会場を含めた参加者により、今回のテーマにて講演された、現在政策として想定されている状況を分析し、来るべき社会状況のなかで我々歯科界が何をすべきかを検討していきたい。

講師／遠藤 久夫 教授

学習院大学経済学部教授（ヘルスケアシステムの研究）

（非常勤講師）：京都大学大学院医学研究科非常勤講師

（所属学会等）：医療経済学会（会長）／日本経済学会／日本医療・病院管理学会／組織学会

（審議会等委員）

内閣：社会保障制度改革推進会議 委員（2014～）

文部科学省：東北地方における医学部設置に係る構想審査会 委員（座長）（2014～）

厚生労働省：地域医療構想ガイドライン策定検討会 委員（座長）（2014～）

医療介護総合確保促進会議 委員（2014～）

政策科学総合研究事業 評価委員（2013～）

社会保障審議会 委員（2011～）

社会保障審議会医療保険部会 部会長（2011～） その他

フォーラム参加申込書（無料）

氏名

出身校

年卒

東京歯科大学同窓会までFAXにてお申し込み下さい

FAX番号03-3264-4859